

新病院建設工事近隣説明会実施結果

令和3年10月24日(日)

午前10時から午前10時50分

総合病院新棟3階セミナー室

1 病院側出席者

院長、事務局長、管理課長、施設課長、新病院建設担当主幹、経営企画課長および事務局職員係長以下7名、工事施工業者3名、工事監理業者2名
合計18名

2 近隣住民等参加者（※実施案内配布・郵送件数 約350件）

◎東青梅 17名

◎河辺町 3名

◎千ヶ瀬町 1名

○その他地区

藤橋 1名

大門 1名

合計23名

3 内容

(1) 開会の挨拶 (大友院長)

(2) 新病院建設事業の経過および全体事業計画について説明
(橋本新病院建設担当主幹)

(3) 新病院建設工事の状況および今後の工事予定について説明
(清水建設株式会社 岡田所長)

(4) 質疑応答
別添のとおり

(5) 閉会の挨拶 (新居事務局長)

以上

10/24(日)新病院建設工事近隣説明会 質疑応答およびご意見

(4) 質疑応答

項番	質 問	回 答
1	山留め杭は、何メートルのものを何本、どの範囲で入れているのか。	山留め杭は、約13～14mのH鋼を敷地の外周に約500本程度打設している。 (工事施工業者)
2	山留めを打つ前と打った後で、南側の崖に変化はあったのか。	掘削工事を行いながら山留め杭の位置を計測しているが、動きが見られないことを確認している。また、周辺道路などに亀裂が出ていないかを監視している。 (工事施工業者)
3	南側道路下の崖に影響はないのか。	山留め杭の位置の計測により敷地内の地盤が動いていないことを確認しているが、崖への影響は不明である。お気づきの点があれば、ご相談いただきたい。 (工事施工業者)
4	トラックの通行台数はどの程度なのか。	掘削工事による土砂や解体工事によるガラ等の搬出で1日100台程度であり、今の時期が一番多い。今後は、鉄骨・躯体工事で1日30台程度、仕上げ工事で50台程度を想定している。ただし、それらとは別にコンクリート打設時にミキサ車が1日40～50台程度出入りする。 (工事施工業者)
5	南側道路から出入りすると思うが、トラックは総合体育館側から来るのか。	総合体育館側から入場し、総合体育館側へと退場する搬出入ルートとしている。なお、敷地東側は道路が狭く、敷地と段差があるため、出入りは南側道路のみとしている。 (工事施工業者)
6	南側道路に大型車両通行止めの看板があるが、通行して良いのか。	道路の使用については、警察をはじめとして関係諸官庁と協議済みである。 (工事施工業者)
7	総合体育館横の道路で車が待機することはあるのか。	待機しないよう警察から指導を受けている。退場する車両との兼ね合いで一時停止することはあっても、長時間待機することはない。 (工事施工業者)
8	基礎に杭打ち工事は行わないとのことだが、地盤に強度があるからか。	ボーリング調査によって支持地盤に強度があることを確認しており、問題がないものとして関係諸官庁からも許可を受けている。 (工事監理業者)
9	ボーリング調査の範囲はどこまでか。敷地外の崖がずれることがあるため、見ておいて欲しい。	敷地内の調査は行っているが、敷地外は行っていない。敷地外については、工事施工業者と共に工事後の状況を確認していく。 (工事監理業者)
10	崖崩れなどが工事から離れた場所で発生している事例があり、心配である。工事施工業者と工事監理業者はどの程度認識しているか。工事を進めながら都度確認してもらわないと心配である。	近隣住宅の家屋調査を実施しているが、少し離れた場所でも希望に応じて家屋調査をさせていただくので、連絡をもらいたい。 (工事施工業者)
11	家屋調査だけではなく、土壌を調査し、事故が起こらないようにしてもらいたい。	工事監理業者、工事施工業者および病院で進め方について協議する。 (病院)

■ 説明会実施後のご意見・ご質問と回答

項番	ご意見等	回 答
1	提示した資料は全て配布すべきである。 家屋調査の希望については、各戸に文書を配布すべきである。	当日の配布資料については、ホームページに掲載するとともに近隣住民あてに順次配布する。なお、説明会にて映写した資料は分量が多く、近隣住民全てに配ることが難しいため、代表して各自治会長様に配布する。また、病院の隣接地域に家屋調査の案内を配布する予定だが、その他の地域でご希望があれば、工事施工業者に問い合わせいただきたい。 (病院)
2	今後の説明会の開催について、平日と土日で2回行うなど、参加しやすいように工夫して欲しい。また、市民向けに説明会後の報告をお願いしたい。	今後の説明会については、頂いた意見にできる限り沿う方法での開催を検討する。また、説明会の実施報告に関しては、資料の戸別配布やホームページ等への掲載をもって広く知らせる予定である。 (病院)
3	現在行われている長期工事は、新型コロナウイルス感染症拡大以前に計画されたものであるが、コロナ禍においても計画を継続するのか。 総合病院は近隣市にも非常に重要視されている病院であるが、コロナ禍において病院の機能はどの程度活かされたのか。 工事とコロナ対応の今後のあり方を教えて欲しい。	当院は西多摩地域の中核病院であり、安定した医療提供が求められている。そのため、新病院建設にあつては、診療に影響のないよう病院機能を最大限維持し、計画に沿って工事を進めている。 また、今夏は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い東京都全体で病床が不足する事態となったが、東京都からの要請に応じ、専用病棟増設による患者受入れ体制の強化など、当院が持つ病院機能を活かし積極的に対応した。高度で専門的な医療を望む声に応えるためにも、新病院の開院を予定通りに迎えることが当院の責務である。今後も新興感染症対応に留意しつつ工事を進めていく。 (病院)
4	工事の騒音で心身の負担を感じているため、より一層の防音対策を行ってほしい。 また、騒音が出ないように、工事は平日のみとするとともに、工事時間を厳守し、その前後の作業員の出入は極力少なくしてほしい。	工事の騒音については、騒音規制法遵守で作業を進めており、できる限り騒音の少ない工法、低騒音の機械を使用し、騒音の抑制に努めているのでご理解願いたい。また、作業員には大声を出さない等指導している。 工事の全休日は原則日曜日とし、作業時間は午前8時から午後6時まで、前後1時間程度は作業の準備、点検、清掃のため作業員が出入りする。 工事の稼働状況については、仮囲いのデジタル掲示板にて知らせるが、平日以外では極力騒音の大きな作業を行わないようにしている。 (工事施工業者)
5	以前に解体工事が行われている時に、アスベストを含む建材がある等の看板が出ていたが、現状として飛散はないのか。 また、地盤の不安定化が起きていないかを説明してほしい。	今回の工事において、飛散性のアスベスト建材はない。また、非飛散性アスベスト建材の除去工事は7月に一旦完了しており、現状として飛散することがない。なお、地盤については、掘削している範囲の山留を計測管理しているが、現状で異常はみられない。 (工事施工業者)
6	最長13mの山留めを本館外周に500本打ったとのこと、地盤は問題ないと言っていたが、新病院敷地外(特に南側)はすぐ崖になっている。以前の地震で地盤がずれていることが大変心配である。ボーリング調査により敷地内には問題がないことはわかったが、敷地外については未実施なので着工前と後の調査をお願いしたい。	敷地外の部分については、平成29年の基本設計時に南側道路の敷地境界線とその対岸を測量しており、その測定点を基本とし、改めて同じ点を測量して地盤面の動きを見る方向で検討している。 (工事施工業者、工事監理業者)
7	希望者に家屋調査を行う旨の説明があったが、いつどのような方法で住民に流すのか。	現在、具体的な方法を検討しているが、傾斜地に建設されている住戸を中心に個別配布等でお知らせしたいと考えている。 (工事施工業者)